

■発行:平成21年8月20日

8月臨時会

- 2p 補正予算を可決
- 3p 陳情を採択

6月定例会

- 4p 可決された意見書
- 9p 一般質問に13人が登壇

その他

- 6p 市議会に対するアンケート集計結果
- 16p 委員会視察報告

Shobara city council magazine

第19号

しほばら市議会だより

比婆斎庭神楽 「荒神」

(8月2日 比和町)

補正予算を可決

8月臨時会

第3次経済危機対策事業で29億1,789万5,000円を計上

8月4日の本会議において総額30億8,845万6,000円を追加する7つの補正予算が上程され、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会へ付託されました。

同日、予算審査特別委員会が開催され、4時間に及ぶ審査が行われました。

8月10日には本会議で委員長報告の後、討論が行われました。採決の結果、補正予算はすべて原案どおり可決されました。

予算審査特別委員会で行われた主な質疑は、次のとおりです。



予算審査特別委員会の様子（8月4日）

問

農業政策推進事業について、どのような手法をもって取り組もうとしているのか。

答

この事業目的は高齢化が進む中で、耕作放棄地及び住居周りの草刈り等、なかなか環境整備ができない地域に、市の職員がボランティアとして参加し、地域を整備しようとするもので、具体的には全職員に対し呼びかけ、参加者を募り、支所と調整を図り、各地域の選定場所を設定して、これを援農隊と称し、環境整備をするものだ。

問

木質バイオマスボイラーの導入効果及びペレットの生産目標と採算性はどのようになっているのか。

答

導入効果は、灯油価格を80円で積算すると128万円の燃料代の節減になり、灯油削減量は全体の70%をカバーして、約16万ℓの削減。ペレットの生産目標と採算性は、このたびのボイラー設置も含めて年間500tの生産を目標としているが、試算では700tで単年度黒字が出せると見込んでいる。

問

市内6カ所に設置する防犯カメラの必要性はどのように考えているのか。

答

犯罪や非行を抑止するため、そういうことを未然に抑止することで、もし万一事件が起きて、車等での逃走があった場合には確実に把握できる体制を整えておこうという考え方だ。

問

三楽荘の修復工事について、当面調査費のみとし、調査終了後に議会と協議し、9月議会へ提案してはどうか。

答

三楽荘は非常に特殊な建物であり、通常家屋の補修とは若干違っている。それと、三楽荘は非常に保存状態が悪く、雨漏りがひどい。これをいつまでも放置しておけない非常に緊急的な状況にあるというところがあり、そういった意味で今回、調査設計と最小限の補修費用、あわせて9,000万を計上している。

特別委員会 設置される

8月10日の本会議において、議員発議として提出された特別委員会の設置に関する決議が可決され、1つの特別委員会が設置されました。

職員不祥事に関する 調査特別委員会

(8人)

委員長 八谷文策
副委員長 林谷正策

福岡 垣門 小谷 林 八
山村 内脇 谷口 谷 文
権 信 秀 俊 鶴 隆 高
二吉 孝 照 義 明 正

【付託事項】

職員の不祥事再発防止に向けた職員の意識改革の徹底と組織、機構に関すること

【設置の期間】

議会で終了報告を行うまで

陳情

8月臨時会では、6月定例会において産業建設常任委員会に付託され、継続審査となっていた陳情について、次のとおり委員長報告がありました。

陳情第1号

三楽荘の保存並びに
整備について

◎陳情者

三楽荘を保存する会
代表 上町自治振興区
会長 安川 保 氏

◎陳情の要旨

東城のシンボルの重要文化財にも匹敵する伝統建造物三楽荘の保存並びに整備を要望するもの。

◎審査の過程

保存、維持するための経費はどの程度必要か、維持管理は誰が行うのか。登記事務や活用計画、財政計画などその後の取り組みが不十分では。広範な市民合意を最優先に慎重に取り組んでいたいただきたいなどの意見が出された。

審査の結果

採 択

陳情第2号

東城町市街地活性化事業に伴う
地元説明会の開催と住民合意の
計画の見直しを求める陳情

◎陳情者

町づくり勉強会 谷繁 一夫 氏
土居 勝 氏
三上 博 氏

◎陳情の要旨

東城市街地のまちなみを地域資源として保存活用を図ることにより、賑わいの再生と魅力を創出し、活力ある東城市街地の整備を進めることを目的に計画された東城市街地活性化整備事業について、地元説明会の開催と住民合意による計画の見直しを求めるもの。

◎審査の過程

シンポジウムや広報しようばらで多面的な意見を取り上げる姿勢が必要ではないか。三楽荘の一部を拠点施設にすることはできないのか。古いまちなみは市内でも東城だけなので、まちな

み景観全体の整備を優先してその中で施設整備を考えるべきでは。三楽荘と拠点施設は機能が違うので、市街地活性化のためには必要などの意見が出された。

状況補足

東城まちなか拠点施設は、平成18年度に策定された庄原市長期総合計画に盛り込まれており、3年間の実施計画として、この間、アンケート調査、建造物調査、広報活動、地元説明会、市民会議など議論を重ね、21年度施設建設の予定。議会では、拠点施設整備をはじめとする7、618万円の事業費を平成21年度当初予算で議決しています。

審査の結果

採 択

なお、陳情1号及び陳情2号は、執行者へ対し、今後の処理の経過及び結果の報告を求めることにしています。

平成21年8月

臨時会議決結果

(2～3ページ掲載分を除く)

会期 8月4日～10日(7日間)

種類	分類	事件名	議決結果
議案	条例	庄原市職員定数条例の一部を改正する条例	原案可決
		庄原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決

6月
定例会

可決された意見書

この意見書は、広島県知事、広島県教育委員会委員長、広島県教育長にあてて、送付および要望活動を行っています。

庄原市の小規模県立高等学校の存続を求める意見書

広島県教育委員会は、昨年6月13日に出した県立高等学校再編整備基本計画に基づき、本年5月に「小規模化した県立高等学校（全日制）の学校間の連携の在り方について」を提示し、県立高等学校の統廃合の具体的方針を明らかにしました。

その内容は、近隣の適正規模（1学年4学級以上8学級以下）の高等学校との連携による分校化を進め、あわせて統廃合により適正規模化を進めるというものです。

そして7月に開催される教育委員会会議で分校とする学校、募集停止とする学校を決定し、今年度中に条例改正を行い、来年4月から実施されようとしています。

本市の場合、広島県教育委員会の方針に基づき検討が進められる高等学校が3校あり、本市における高等学校教育が今後どのようになるのか、大変心配な状況になっています。

昨年の自彊高等学校・高宮高等学校の場合、次年度からの募集停止の決定が関係者に知らされたのは、教育委員会会議の開催1週間前でした。地域への説明がないばかりか、地域住民が意見を述べる機会もなく、各方面から強い批判が寄せられたにもかかわらず、今回も非常に拙速なやり方となっています。

また、広島県教育委員会は、住民の方の意見を聞く場を設ける考えがないことを県議会の一般質問で明らかにしました。本来、学校の分校化を含めた統廃合を行う場合は、時間をかけて学校関係者や地域住民へ十分に説明した上で意見を聞き、関係者の理解を得てから決定すべきです。

高等学校は、まちの機能の大きな柱です。過疎地に存在する小規模県立高等学校は、地域とのつながりを生かし、地域の発展に大きく貢献しています。

また地域住民もこれまでいろいろな面で高等学校に対して協力、支援を行っています。

通学面からも本市は1,246km²という広大な面積の中、公共交通は十分とは言えず、現在も多くの生徒が通学に苦慮しているのが実態です。

これ以上の統廃合が進むと地元において高等学校教育が受けられない生徒が増加し、過疎化に拍車をかけることとなります。

教育は、未来の先行投資です。

よって、広島県及び広島県教育委員会におかれては、本市の実態をご賢察いただき、これからの子どもたちが高等学校教育を受ける場合に不利益を被らないためにも小規模県立高等学校を存続していただきますよう、強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成21年7月2日

庄原市議会

そのほか6月定例会では、次の意見書が可決されました。

- 核兵器廃絶の国際条約締結と北朝鮮の6カ国協議への復帰及び核兵器開発放棄の実現のための取り組みを求める意見書
- 教育予算の拡充を求める意見書
- 地方財政の充実・強化を求める意見書

平成21年
6月

定例会議決結果

会期 6月23日から7月2日まで (10日間)

種類	分類	事 件 名	議決結果	
議案	条例	庄原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	
		庄原市児童健全育成施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	
		庄原市老人集会所設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	
		庄原市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	
		庄原市営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決	
	予算	専決処分の承認を求めることについて (平成21年度庄原市一般会計補正予算 第2号)	原案可決	
		平成21年度庄原市一般会計補正予算 (第3号)	原案可決	
		平成21年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	
		平成21年度庄原市介護保険特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	
		平成21年度庄原市簡易水道事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	
		平成21年度庄原市工業団地造成事業特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	
		平成21年度庄原市比和財産区特別会計補正予算 (第1号)	原案可決	
	一般	人権擁護委員候補者の推薦に意見を求めることについて	同 意	
		工事請負契約の締結について	原案可決	
		財産の取得について	原案可決	
		財産の無償譲渡について	原案可決	
		和解に応じることについて	原案可決	
	発議	一般	核兵器廃絶の国際条約締結と北朝鮮の6カ国協議への復帰及び核兵器開発放棄の実現のための取り組みを求める意見書	原案可決
			教育予算の拡充を求める意見書	原案可決
			地方財政の充実・強化を求める意見書	原案可決
庄原市の小規模県立高等学校の存続を求める意見書			原案可決	



6月定例会の様子 新庁舎の見学も兼ねて
多くの方が傍聴においでくださいました

人 事

人権擁護委員候補者の推薦に
意見を求めることについて

現委員の任期満了に伴い、
後任として新たに推薦するた
め議会の意見を求めるので
す。

西
城
町
大
佐
13
番
地
瀧
口
秀
志
氏
▽
同
意

市議会に対する アンケート集計結果

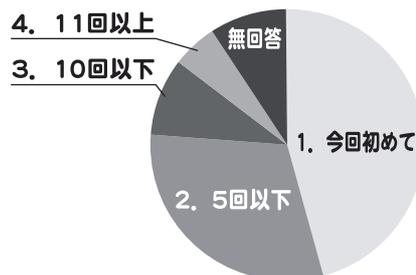
6月定例会会期中に、議会を傍聴に来られた皆さんに市議会に対するアンケートをお願いしたところ、88人の方に回答をいただきました。アンケートの集計結果は、次のとおりです。

集計結果

1 庄原市議会の会議を見たことがありますか。【複数回答可】

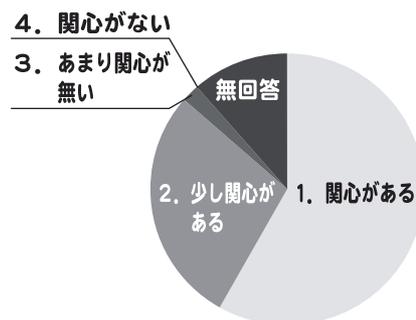
項目	回答数
1. 本会議（議場）を傍聴した	76
2. 委員会などを傍聴した	4
3. 庄原市役所（本庁・支所）のテレビで見た	5
4. 地域イントラネットで見た	5
5. 庄原市議会のホームページから録画中継を見た	2
無回答	8

1-1 ※その合計回数を教えて下さい



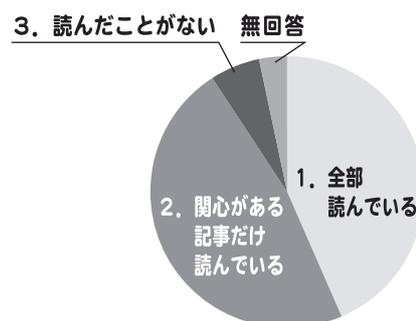
2 庄原市議会に関心がありますか。

項目	回答数	割合
1. 関心がある	51	58%
2. 少し関心がある	25	28.4%
3. あまり関心がない	2	2.3%
4. 関心がない	0	0%
無回答	10	11.3%



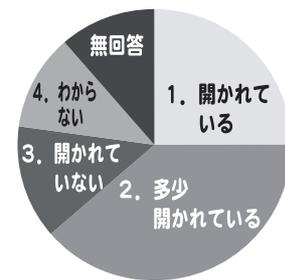
3 「しょうばら市議会だより」を読んでいますか。

項目	回答数	割合
1. 全部読んでいる	38	43.2%
2. 関心がある記事だけ読んでいる	41	46.6%
3. 読んだことがない	5	5.7%
無回答	4	4.5%



4 庄原市議会は市民に対して開かれていると思いますか。

項目	回答数	割合
1. 開かれている	22	25%
2. 多少開かれている	34	38.6%
3. 開かれていない	12	13.6%
4. わからない	10	11.4%
無回答	10	11.4%



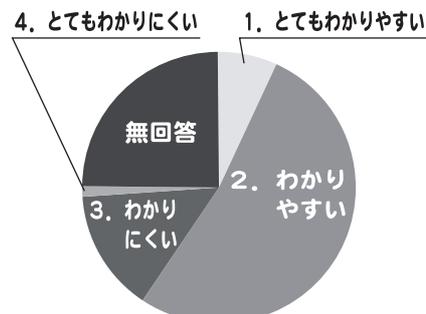
5 庄原市議会の会議日程を何で知りましたか。【複数回答可】

項目	回答数
1. 市議会ホームページ	9
2. 市議会だより	35
3. 議会事務局へ問い合わせ	15
4. オフトーク・防災無線	13
5. その他	22
無回答	6



6 現在の庄原市議会（議案審議や一般質問など）はわかりやすいですか。

項目	回答数	割合
1. とてもわかりやすい	6	6.8%
2. わかりやすい	46	52.3%
3. わかりにくい	13	14.8%
4. とてもわかりにくい	1	1.1%
無回答	22	25%



7 傍聴した感想や市議会に対するご意見、ご要望など、自由に記入してください。（ここでは、いただいたご意見、ご要望の一部を掲載しています。）

- ☆高齢者の聴力では早口の専門語はわかりにくい。
- ☆初の一問一答方式ということで興味をもって傍聴させていただきました。議員の質問が一問一答のメリットである案件の質疑について強い論議が期待されるが、表面的な状況で相互に納得できる内容になっていないのではないかと。
- ☆質問の方法を傍聴の人に理解できるような話し方をしてほしい。
- ☆初の一問一答での一般質問を傍聴したが、初めてにしては割合スムーズな運営であったと思う。持ち時間をできる限り余らせることのないよう、質問者の事前学習が必要。答弁は、全体的に良かったと思う。

アンケートにご協力、ありがとうございました。
いただいたご意見を参考にして、議会改革をめざします。

会派

ここで紹介する会派は、7月29日までに届け出のあったものです。

◎新たに結成された会派

野の風

代表 和田 満
事務局長 赤木 忠福

加島 英徳
八谷 文策
野崎 幸雄
門脇 俊照
藤山 明春

◎異動のあった会派

清政会

代表 垣内 秀孝
副代表 田中 信吉
事務局長 岡村 信行

小谷 鶴信
西村 和義
名越 正寿
中村 泰巧
徳永 臣

表彰

5月27日に東京都において開催された第85回全国市議会議長会定期総会において、本市議会議員が次のとおり表彰されました。
ご功績をたたえ、今後のご活躍を祈ります。

議員特別表彰

議員35年以上
平山 俊憲

議員一般表彰

正副議長4年以上
加島 英策
八谷 文策

議員15年以上
八谷 文策

佐々木 信行
野崎 幸雄
宇江田 彦

議員10年以上
和田 満

谷口 隆明

※町議在職期間は、2分の1で換算されています。

議会の動き

5・6・7・8月

5月

8日 議会広報委員会
新人議員研修会 **第2回**
20日 議会運営委員会
議員全員協議会
22日 新人議員研修会 **第3回**
27日 教育民生調査会
28日 産業建設調査会
29日 総務財政調査会

6月

1日 議会運営委員会
2日 議員全員協議会
4日 産業建設調査会
16日 議員全員協議会
議会運営委員会
23日 **第4回市議会定例会** **初日**
24日 **第4回市議会定例会** **2日目**
総務財政常任委員会
26日 総務財政常任委員会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会

29日 議員全員協議会
第4回市議会定例会 **3日目**
議会運営委員会

7月

2日 **第4回市議会定例会** **最終日**
議員全員協議会
議会広報委員会
8日 産業建設常任委員会
16日 議員全員協議会
17日 教育民生常任委員会
21日 総務財政常任委員会
総務財政常任委員会 行政視察 (23日まで)
(岐阜県多治見市、滋賀県高島市)
27日 産業建設常任委員会
議員全員協議会
28日 議会運営委員会
29日 産業建設常任委員会

8月

(10日まで)

4日 議会広報委員会
議会運営委員会
第5回市議会臨時会 **初日**
予算審査特別委員会
5日 総務財政常任委員会
産業建設常任委員会 行政視察 (7日まで)
(千葉県香取市、東京都)
6日 教育民生常任委員会
10日 **第5回市議会臨時会** **最終日**
議員全員協議会
職員不祥事に関する調査特別委員会
議会広報委員会

ここが聞きたい!

一般質問

平成21年6月定例会では、13名の議員が一般質問を行いました。
この記事は、要旨をまとめたものです。
なお、本定例会から一般質問の方法が一括質問一括答弁から一問一答方式になりました。

問 少人数学級に対応できるよ
う、必要な教室数を確保すべ
きではないか。

庄原中学校の建て替え

答 現在、広島大学ではふるさと
と枠の設置、県では医師育成
奨励金の助成制度など、既存の医師
養成を図る取り組みが行われている
が、これへの制度を併用することが
できる制度、そして市内の医療機関
で一定期間従事すれば償還を免除す
ることなどを盛り込んだ実効性ある
奨学金制度の創設をめざしており、
21年度中に募集し、22年度当初から
施行できるよう計画的に進めていく。

問 庄原赤十字病院の産婦人科
医、小児科医、麻酔科医の確
保のため、市独自の奨学金制度を創
設すべきではないか。

奨学金制度の創設



ふじき 藤木 くにあき 邦明議員

藤木邦明議員のその他の質問
○箱わな捕獲柵の設置について
○出産医療の再開等について
○西城旧三坂小学校の宿泊施設化の
凍結、再検討について

答 合併前の市町を含め有害鳥
獣防除事業関係補助金等を活
用して導入された箱わな等について
は、補助事業の目的が自衛による有
害鳥獣捕獲であることから、登録狩
猟と明確に分ける必要があり、猟期
においては使用されないよう指導し
てきた経緯があり、今後とも自衛駆
除の箱わな捕獲柵について、猟期に
は使用しないよう指導していきたい
と考えている。

問 猟期にも捕獲班が自衛駆除
の箱わなを使用できるように
すべきではないか。

イノシシ駆除の徹底

答 現時点では、学校長、保護
者代表及び地域代表などの関
係者等との検討は始めているが、
今後、基本設計を組み立てる段階に
応じて意見交換を行いながら今年度
中には基本設計を完了したい。



よころ まさゆき
横路 政之議員

わがまちのスクール・
ニューディールについて

問 小中学校への太陽光パネルの設置、学校の芝生化、電子黒板、デジタルテレビの設置についてはどうか。

答 太陽光発電パネル設置への取り組みについては、取りつけ対象校として新耐震基準施行の昭和57年以降建築の小中学校24校を計画しており、21年度は15校分、事業費4億7,000万円を施設整備計画書に載せている。芝生化への取り組みについては、校庭等への施工には関心はもっているが、21年度は国の補助を受けての事業計画は立てていない。電子黒板、デジタルテレビは、今年度すべての小中学校に、デジタルテレビ機能つき電子黒板を配置する計画だ。

検診無料化の取り組み

問 女性の子宮頸がん、乳がんの検診無料化が決まったが、わが市の取り組みは。

答 本市の場合、既に集団検診によるがん検診の実施や、人間ドックによるがん検診の案内を開始している。対象年齢に該当する方が検診費用の一部負担いたいた上で受診される場合が生じてくる。こうした方に対しては、後日検診費用を還付していきたいと考えている。



- 横路政之議員のその他の質問
- 地域活性化・経済危機対策臨時交付金について
- 経済危機対策とわがまちの取り組みについて
- 基金の活用策について
- 女性のがん検診事業について
- がん検診の受診率について

生活支援対策



こだに つるよし
小谷 鶴義議員

問 補正予算の12億円は経済対策・生活支援対策となっているが、生活支援に対する支出方法・対策等は。

答 生活支援に対する支出方法、対策等は大きく2つの方法があると思う。1つには、世帯収入を増加させる対策として定額給付金や子育て応援特別手当などのように直接市民に支給するものだ。定額給付金や子育て応援特別制度が国の政策として実施されているが、一過性の対策であり、効果は今後の検証を待つところだ。もう1つは、世帯の支出を減らす対策だ。市民税などを減額するものだが、非課税世帯等に対して減税効果が得られないなどの課題がある。こうしたことから市民に一律の生活支援を実施するのではなく、若者支援、子育て支援など政策的視点を持って継続的に対策を実施することが肝要と考えている。

一体感の醸成の進め方

問 これからの4年間、どのような方法で一体感の醸成を進めようとするのか。

答 一体感の醸成環境を整えるため、3つの視点を持ってこれまでの4年間取り組んできた。1つは、地域間の不均衡の解消。2つ目は、長期総合計画実施計画の着実な実施。3つ目は、地域個性の発揮と市民間・地域間相互の交流の促進。今後の一体感の醸成の方針についても、引き続き取り組むことと考えている。



総領地域「おいでん祭」
今年4年ぶりに10月4日(日)に開催されます

- 小谷鶴義議員のその他の質問
- 情報公開について
- 職員のボーナスカットは考えないのか
- 農地法の改正
- 地域と学校教育



かどわき としてる 門脇 俊照 議員

障害者と障害者施設への支援を

問 障害者や障害者施設が障害者自立支援法により窮地に追い込まれている。市による目に見える支援が必要だと思うが、所見を伺う。

答 本年4月から操業を行う小規模な事業所への運営費助成や自家用車、バイクで通所する利用者への交通費助成など、本市単独での新たな助成を行うこととし、事業者、利用者の費用負担の軽減に努めている。本市での障害者施設への業務委託の事例、実績としては、成人式における記念品の購入、人権リポンの作成などがあるが、安定的、継続的な業務委託には至っていない。今後も各施設が販売する製品や受託可能な役務の調査、市内イベントへの出店案内、庁内各課への情報提供など、可能な支援に努めていきたい。

情報伝達システムの構築

問 高齢者の情報はテレビが多く、全国のこととはわかるが、本市のことがわからないと言われる。有線放送や防災無線、できればお年寄りの安否確認ができるシステムの導入はできないか。

答 現在のところは、施設の無線設備、オフトーク通信の更新時期等の機会をとらえて防災無線による告知システムの構築を図っていきたくて考えており、長期総合計画の実施計画への計上を検討している。ひとり暮らしの高齢者を見守るシステムについては、合併前から各地域において緊急通信体制整備事業を進めてきた。今後これを最大限活用していくとともに、安否確認についてもより実効性のあるシステムを調査研究していきたい。

門脇俊照議員のその他の質問
○地上デジタル放送への対応は
○生活道改善の助成拡大を



なかはら たくみ 巧 議員

総領町を通過する国・県道等の整備について

問 ①中領家庄原線の整備着手の見通しは。
②幹線林道支線高尾小坂線の整備方針は。
③国道432号線の児童、生徒が通学する歩道の整備方針は。

答 ①田尻工区の約3、000mについては、当面の交通課題が解消できたことにより、整備が予定されていない。
②県側からの回答では、今年度1年間をかけて、それぞれの路線について精査を行い、事業を承継するかどうかの方向性を決めたいという内容にとどまり、未だ明確な方針が示されていない。
③未整備区間は両側に田総川と切り立った山があることや家屋が隣接していることなどにより、工法的に大変困難と考えられる。状況を十分に把握しており県に強く要望していく。

有害鳥獣対策について

問 既に実施されている事業のほかに、奨励金の増額、免許取得助成、集落単位での講習会等と併せ、近隣市町と連携し、広域で一斉駆除に取り組む考えは。

答 本市のイノシシ捕獲報奨金は1頭当たり捕獲班によるものが1万円、自衛捕獲によるものが5、000円。県内の他の市町では2、000円から8、000円なので、本市の報奨金の額は、適正と考えている。狩猟免許取得に対する助成制度の申請は慎重に検討する必要がある。
近隣市町との連携では、東城地域の捕獲班が神石高原町の捕獲班と連携し、4月と5月の2回、それぞれの市町でカワウの斉駆除を実施し32羽を捕獲した。また現在、灰塚ダム周辺におけるカワウの駆除について三次市と連携し、被害状況や営巢地の調査などを行っており、引き続き周辺市町と連携した駆除対策に取り組んでいく。



ふじやま あきはる
藤山 明春 議員

集落支援員制度への取り組み

問 過疎地域の集落機能維持のため、国は集落支援員制度を創設したが、本市の取り組みを伺う。

答 本市では、自治振興区が行政と協働して地域を経営するパートナーとしての役割を担っており、庄原市自治振興区連合協議会が新たな公による「コミュニティー創設支援モデル事業を活用し、昨年度から進めている相談業務などの自治振興区を支援する取り組みを本年度も継続することとしている。

自治振興区を支援することがその自治振興区を構成する集落を支援することにつながるものと認識しており、こうした取り組みを引き続き支援していく。集落支援員制度については、調査、研究、情報収集を続け、今後有益で効果的と判断される場合には、積極的に導入を検討していきたい。

太陽光発電について

問

本市は、木質ペレットボイラーやペレットストーブを力を入れているが、太陽光発電も地球温暖化に対し有効と考える。

①太陽光発電についての今後の取り組みを伺う。

②国の補助制度の内容について伺う。

答

①本年度より公共施設に太陽光発電設備を整備し普及拡大に資するとともに、地域活性化経済危機対策臨時交付金を活用した本市独自の補助制度を創設し、幅広い普及促進を図る。補助制度内容は、現在検討中だが、国の制度と連携をすける形で早急に制度化し、普及啓発に積極的に努めていきたい。

②家庭での普及拡大に向けた取り組みとして、本年度住宅用太陽光発電導入対策補助金が創設された。概要は、みずから居住する住宅において、最大出力10kW未満の設備を設置する場合、1kW当たり7万円を補助するものだ。

藤山明春議員のその他の質問

○自然エネルギーの導入について



たかぐち たかあき
谷口 隆明 議員

東城まちなみ整備事業について

問

①一方的な広報でなく、丁寧な住民説明が必要だ。自治振興区などへの説明も必要では。

②古い町屋としてそのまま修繕・保存、活用してこそ価値があるのでは。これからまとめる活用の基本的内容、有利な補助金とは何か。

③三楽荘の活用をするのなら、まちなみ拠点施設は再検討すべきだ。空き店舗など現存する資産の有効活用を図るべきでは。

答

①先般のシンポジウム開催時に説明が不十分だという住民の方の意見を十分聞かないでシンポジウムを終了するという時間設定をしていた。その反省を踏まえ、もう少し広い範囲で意見を伺う会を持つ準備をしている。

②まちの中心のシンボルとして貢献してきた三楽荘は、まちの大切な誇りであり、高級感のある歴史文化を体験できる癒しの場として位置づけ、食事、宿泊、文化資産展示、伝統文



三楽荘

化継承などの機能を持たせ回遊性など観光客の集客ができる施設として活用したいと考えている。改修費への補助金は、当初は地域住宅交付金事業を導入する計画で準備をしていたが、さらに有利な21年度地域活性化経済危機対策交付金事業が創設されたので現在準備を進めている。

③拠点施設については、19年度から3カ年計画で住民活動の拠点となり、憩いの場となる施設を基本コンセプトに市民会議での意見や提案などを反映しながら進めてきた事業だ。道の駅、まちなみ拠点施設、三楽荘それぞれの役割を分担しながら連携を図り、商店街の活性化につなげていくよう事業を推進していく。

谷口隆明議員のその他の質問

○平和行政について

○水源のまちの責務について

○生活交通対策について



おかもら 信吉 議員

地域活性化、経済危機対策臨時交付金、公共投資臨時交付金及び広島県元気づくり緊急交付金について

問 ①活用方針を伺う。
②財政健全化に向けて、基金への積み立ては考えられないか。

答 ①本市における第三次経済危機対策の輿として、地域経済の浮揚活性化を図るため、市民ニーズを踏まえた地域活性化対策、地域経済対策等を積極的に行うとともに、他分野に渡った総合的な経済対策を実施する方針としている。
②地域活性化と経済危機対策として、速やかかつ着実な実施を図る観点から創設された交付金であり、交付金を財政調整基金及び減債基金等に積み立てて翌年度以降の財源とすることはできない。

水害対策について

問 ①避難体制の確立。
②行政の避難部署統一の必要性。

答 ①今年度洪水ハザードマップを作成し、市民の方へ配布する予定としているが、県が指定する土砂災害危険区域や河川の浸水想定区域などより多くの情報を収集し、さらなる避難体制の確立に努めていきたい。
②市長が避難勧告あるいは指示を行う。この場合、避難勧告の連絡は、災害対策本部から関係部署に一元的に発令するよう体制整備を図っており、市民の方への伝達は防災無線、オフトーク放送または地域自治会、自治振興区、消防団員を通じて避難勧告の徹底を図る連絡体制を構築している。

岡村信吉議員のその他の質問
○自主防災体制の整備を
○イノシシ捕獲委託について
○東城まちなみ整備事業にかかる三楽荘について



なごし むねとし 議員

21年度の基幹産業の方針

問 ①新規就農促進、農業後継者育成について
②JA庄原との連携は。
③明日の農業に期待できる構想、計画について

答 ①農業技術を学ぶ機会拡大を目的に、農業技術大学校が実施する就農促進研修を市民が受講する場合、受講料の半減助成を行う、「かんだん就農塾事業補助金」制度や、本年度から、庄原市で新たに農業経営を始めるために、農業技術大学校や市内の農家などで営農研修を行う方を対象に研修奨励金を交付する「農業後継者育成事業奨励金」制度を新設し、農業後継者の育成を推進している。
②市とJA庄原のトップによる意見や情報交換の場として協議会を定期的に開催することとしており、本年度も6月に開催し、地域単位の産直市生産者の産地化や農産物のブランド化などについて調整を行っている。

③地域営農集団を基盤とした集落営農の法人化など集落営農組織の育成・強化に努め、その経営の中にほうれんそうや菊など園芸部門、または和牛飼育を導入するなど地域ぐるみでの取り組みを展開していきたい。

県道改良及び歩道の新設

問 県道下千鳥小奴可停車場線の国道314号線分かれから小学校の間は通学路であるが、3・3mと狭く、歩道も無く、とても危険だ。改良計画を伺う。

答 小奴可工区の延長500m区間において整備が進まない問題点として、県の道路整備計画において未着手路線としてランクづけとなっており、予算措置が厳しい。理由としては、国道314号から約200mのところはJR芸備線があること、小奴可の中心部で家屋が密集しているため、現道拡幅が難しいことなどが考えられる。市としても、本路線を含め、真に必要な道路整備については今後も県に対し整備路線にランクづけをしていただくよう強く要望していく。

名越峯壽議員のその他の質問
○20年度の基幹産業の評価について



ふくやま けんじ 議員
福山 権二

高齢者対策について

問 各種の市発行文書の文字が小さくなっている。高齢者対策としてもっと大きな字にすべきではないか。

答 様々な広報媒体、説明資料等について受け手の理解を最優先とするということを再度念頭に置き、職員への意識啓発を図り、的確な業務の推進に努めていきたい。

市長選挙の結果について

問 市政批判の声が相当量あったが、今後の市政運営にどう活かすのか。

答 選挙を経てみずからの市政運営の原点に立ち返り、改めて市政の主人公は市民であることを認識し、市民の皆さんの思いに目線を合わせ、目配り、気配りを常に心がけるとともに選挙公約の着実な実

施と、公平・公正はもとより徹底した情報公開と対話により、説明責任の遂行と市民理解を得る中で地域活性化と市民福祉の向上に努めていく。

新庁舎の設備について

問 新庁舎に喫煙室や2階以上の階に点字ブロック設置など市民要望が多いがその対策は。

答 視力障害者のための点字、線字ブロックの設置については、新庁舎内においては、西側及び東側の来庁者用入口からエレベーターホールに設置している総合案内表示に至る経路へ既に設置している。来庁者の喫煙場所については、市民ひろば横のピロティの一角に談話スペースを設け、喫煙場所を確保する計画としている。

福山権二議員のその他の質問
○新庁舎建設の目的について
○市内小中学校の要員配置について



新庁舎1階ロビー



たかまさ たかひろ 議員
高正 林

財政健全化に対する基本方針は

問 市長は、広報しようばら6月号中、「家計と同じように、借金をしてもやるべきことはやらなければならないと思います」と発言されているが、やるべきことは、特別枠による起債も可能か。

答 財政健全化をしっかりと見据えながら、決して健全化一辺倒に陥ることなく市民生活の安心の確保と将来の庄原市発展のため事業を推進していく必要がある。具体的手法としては合併特例債、過疎債、辺地債及び補正予算債などの有利な起債を最大限充当するとともに、このたびの地域活性化経済危機対策臨時交付金や公共投資臨時交付金を有効活用するなど国、県との情報交換を行い、制度改革等の最新情報を把握し、より有利な財源確保を図ることにより、公債費負担適正化計画の最終年度である27年度の実質公債比率を18・6%以内に堅持するよう努めていきたい。現時点では

起債の特別枠を設けることは、公債費負担適正化計画の取り扱いとしては困難だが、可能な限り有利な財源を確保することにより、小中学校の耐震化対策や改築等、喫緊の課題をはじめ必要不可欠な行政需要に対応していく所存だ。

庄原市汚水処理構想

問 本市の汚水処理事業は、持続可能な財政運営プランにより予算が半減された。敷信地区の特定環境保全公共下水道事業に関して、最初の説明より大幅に遅れているが、地元説明が一度もないのはなぜか。

答 敷信地区において、再度、地域への説明がなかったという点は、今思えばその時点で事業圧縮のため、5力年が7、9力年に延びるという説明をしなければいけなかったと大変反省している。なお、19年4月に見直し等々を広報に掲載している。その後、工事着手部分については、地域に直接出向いて、工事説明及びそのときの事業等々の説明をしている。

ここが聞きたい!
一般質問



あかぎ ただし
赤木 忠徳 議員

定額給付金について

問 給付状況は他市と比較して
どうなのか。

答 本市の給付状況だが、6月16日現在で申請書の提出件数は1万5,808件で、全受給者数の96.7%となっており、給付額は6億6,186万8,000円だ。他市との比較では、三次市が93.7%、安芸高田市が96.5%、神石高原町が96.4%、その他の市町もおおむね95%といった状況だ。まだ申請をされていない方への取り組みとしては、広報しようばらにおいて、給付状況をお知らせし、申請書の提出をお願いしたところだ。今後は未申請者の状況をできる限り把握し、とりわけ、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯への対応について、電話確認、あるいは訪問するなどして、申請状況の確認に努め、その状況によっては申請書類の再送付等を行った上で、9月28日の申請期限までに申請していただくよう取り組むべく。

地域活性化・生活対策
臨時交付金について

問 各課の進捗状況は。

答 6月15日現在の各課における交付金対象事業費に対する進捗状況を契約額を分子、予算額を分母として算出したところ、市民生活課、農林振興課、都市整備課、農村整備課、教育指導課は100%、建設課85%、下水道課84%、女性児童課80%、水道課46%、生涯学習課39%、総務課26%、保健医療課24%、商工観光課23%、自治振興課19%、環境衛生課16%、教育総務課14%、政策推進課4%、高齢者福祉課2%で、全体では32%。



定額給付金申請窓口

新庁舎の駐車場確保は



うへだ としゆき
宇江田豊彦 議員

問 各課が新庁舎に集約された
ことから来庁者も増え、公用
車も増えて大変厳しい事態だと思っ
次の点について伺う。

答 ①利用者から苦情が寄せられている
と思うが、どのような実態か。
②今後の対策と解消時期はいつにな
るのか。

答 ①来庁者から駐車スペース
案内表示がわかりにくいなどの声を
いただき、来庁者の駐車場を確保す
る対応策として、一時的に公用車を
田園文化センターの駐車場に移動し
た。
②来庁者の皆さまの安全と更なる駐
車場の確保を考慮し、速やかに工事
を進めていきたい。9月末には、計
画の駐車区域は確保できると考え
ており、その後、その駐車台数は確保
しつつ工事を進め、年内には庁舎建
設を完了したいと考えている。

東城市街地まちなか拠点施設
・道の駅遊YOUさろん東城
・三楽荘について

問 3施設の機能分担について、
どのように考えているのか。

答 市街地まちなか拠点施設は
市街地における住民主体の活
動拠点として、手づくり品を販売す
るショップコーナー、軽食を提供す
る施設のほか、ギャラリースペース
やイベントステージ、休憩コーナ
など多彩な機能を備えている。三楽
荘活用の基本構想とすれば特色ある
建造物の特性を生かした、高級感の
ある歴史文化を体験できる癒しの場
と位置づけ、食事、宿泊、文化資産
展示、伝統文化継承などの機能を持
たせたい。道の駅遊YOUさろん東
城は、東城エリアの広域玄関口とし
ての役割や食事地元産物の販売をメ
インに営業を継続する。各施設とも
市街地情報をもとより、東城エリア
の情報共有化を進め、来訪者への利
便性を向上させるとともに、拠点施
設間の連携による集客、交流を促進
し相乗効果を図る。

常任委員会 視察報告

総務財政常任委員会

調査先

- 岐阜県多治見市
- 滋賀県高島市

主な調査内容

- 多治見市財政改革指針について
- 健全な財政に関する条例について
- 事業仕分けについて



多治見市にて

表紙写真の説明

今回の表紙写真は、広島県指定無形民俗文化財に指定されている^{ひばきにかぐら}比婆齋庭神楽の様です。

この神楽は高野町・比和町の神職が数百年来伝承してきた神事です。

齋庭とは、祭りの庭すなわち神を招くために齋み清められた場所という意味です。写真は8月2日に開催された「比婆山神話めぐりと護符の水」イベントの1コマで、休暇村吾妻山ロッジ屋外ステージで演じられた比婆齋庭神楽「古式の舞」です。



胡子の舞

9月定例会の主な日程 (予定)

日にち	主な会議名
9月7日(月)	本会議、決算審査特別委員会ほか
9月8日(火)	決算分科会
9月9日(水)	決算分科会
9月10日(木)	決算分科会
9月11日(金)	決算分科会(予備日)
9月29日(火)	本会議(一般質問)
9月30日(水)	本会議(一般質問)
10月1日(木)	本会議(一般質問予備日)
10月2日(金)	本会議、決算審査特別委員会
10月6日(火)	本会議(最終日)

※予定のため、変更となる場合があります。詳しくは議会事務局(TEL0824-73-1162)へお問い合わせください。本会議は、いずれも午前10時からの予定です。

編集後記

異常気象が叫ばれて久しいが、本年のように梅雨明けが8月にかかった年があったでしょうか。梅雨期前半には、雨がほとんど降らず、今年は水不足になるのではと心配されていましたが、後半には毎日のように激しい雨に見舞われ、市内各地に被害が発生し、日照時間が少なかったことで、農作物への被害も懸念されています。

例年であれば梅雨の末期にあたり、半夏水といって大洪水に見舞われることが多く、特に昭和47年7月11日と13日に降った大雨は、本市に未曾有の大被害をもたらしました。都合の良い話ではありませんが、何事も適当にと願うのは私のみでしょうか。

議会広報委員会

委員長
副委員長
委員

佐々木 信行
中 原 巧
赤 木 忠徳
加 島 英俊
竹 内 光義